

平成30年（2018）12月5日～10日

平成30年度（2018）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成30年度（2018）第3回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

12月5日（水） 10:00 開会			12月6日（木） 10:00 開会			12月7日（金） 10:00 開会			12月10日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	玉木満	11	1	岸道三	18	1	湯浅啓史	26
2	保科孝充	4	2	西村亮	12	2	後藤由美	19 ～ 20	2	神門至	27
3	寺本淳一	5	3	長廻利行	13	3	川光秀昭	21	3	多々納剛人	28
4	錦織稔	6	4	飯塚俊之	14	4	原正雄	22	4	伊藤繁満	29
5	大場利信	7 ～ 8	5	児玉俊雄	15	5	板倉一郎	23	5	本田一勇	30
6	大谷良治	9	6	板倉明弘	16	6	勝部順子	24			
7	山内英司	10	7	今岡真治	17	7	渡部勝	25			

質問者	15 福島孝雄		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲市における「ひきこもり対策推進事業」について		健康福祉 部長	
<p>① 出雲市における「ひきこもり」の現状を伺う。</p> <p>② 「ひきこもり対策推進事業」について伺う。 ア ひきこもり地域支援センターと市との関わり。 イ ひきこもり支援に携わる人材の養成研修の取り組み状況。 ウ ひきこもりサポート事業の現状と課題。 エ 平成30年度からの拡充内容。</p> <p>③ 「8050問題」「親亡き後の生活」についての市の認識を伺う。</p>			
(2) 「出雲そば旅」の取り組みについて		市長	
<p>① 過去の「全国そば祭り」から現在の「出雲そば旅」への変更理由を伺う。</p> <p>② 予算及び、事業費の動向を伺う。</p> <p>③ 昨年度の「出雲そば旅」による成果を伺う。 ア 交流人口の動向。 イ 地域振興・産業振興の動向。 ウ スタンプラリー参加者数。 エ コラボイベントへの参加者数。</p> <p>④ 今年度の目標を伺う。</p> <p>⑤ 「出雲そば旅」の周知について伺う。 ア 市民への周知方法。 イ 市のホームページでの周知。</p> <p>⑥ 「出雲そば旅」の将来展望を伺う。 ア 交流人口拡大に向けての策。 イ 観光・産業振興拡充に向けての策。</p>			

質問者	20 保科孝充		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 西野小・中部小の児童数増加に伴う課題について			市長	
<p>① 斐川西部地域では、急激な民間開発により、住宅・アパートの建設が多くみられ、人口の増加とともに西野小・中部小児童数も年々増加しています。今後、教室も不足すると危惧されます。現状と、今後の推移について伺います。</p> <p>ア 西野小について</p> <p> a 児童数推移について</p> <p> b 学級数の推移について</p> <p> c 同規模校と比較しての特別教室の実態と対策</p> <p>イ 中部小について</p> <p> a 児童数推移について</p> <p> b 学級数の推移について</p> <p> c 外国籍児童の教育方針と他校との共有</p> <p>② 教育委員会資料の「平成30～40年度児童数及び標準学級数調べ」について伺います。</p> <p> ア どんな調査資料を基に作成されているのか</p> <p> イ 今後の推計はどのようにとらえているのか</p>				
(2) 平成31年度予算編成方針について			市長	
<p>① 11月6日、財政部長名で平成31年度の出雲市予算編成方針が示されました。日頃から感じている数点について伺います。</p> <p>ア 歳入について</p> <p> a 企業の順調な発展に伴う、法人市民税・個人市民税・固定資産税等の伸び率の推移（過去3年程度）と予測</p> <p>イ 歳出の予算の重点化の中で、次の点を伺う。</p> <p> a 道路整備関係についての取り組み</p> <p> b 商店街の空き店舗増加に伴う支援策</p> <p> c 子育て支援・人材育成の具体策</p>				

質問者	13 寺本淳一		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 人材（労働者）不足対策について			
<p>① 本年作成されました「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」の中でも、学生の市外流出や大手企業への就職により中小・小規模企業の人材不足は喫緊の課題となっています。特にライフラインやインフラ整備、災害防止対策や災害による家屋や道路河川復旧など市民生活に大きな影響のある建設業の人材不足は深刻です。そこで市の対策について伺います。</p> <p>ア 10年前と現在の生産年齢人口数と総人口数との割合。</p> <p>イ 10年後に予想される生産年齢人口数と総人口数との割合。</p> <p>ウ 10年前と現在の業種別従業員数の割合と産業別総生産。</p> <p>エ 出雲市全体の業種バランスをどう分析・評価しているのか。</p> <p>オ 人材（労働者）不足に対する市の短期・長期的な具体策は。</p>		市長	

質問者	7 錦 織 稔		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 成年後見制度利用促進に向けての取り組みについて		健康福祉 部長	
① 成年後見制度の利用について ア 成年後見人の役割 イ 市民後見人の養成の計画、支援体制 ウ 利用促進に向けた取組 ② 中核機関等の整備に向けた取り組みについて ア 中核機関の役割 イ 中核機関の整備に向けた取組			

質問者	18 大場利信	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) ある地域の福祉互助に学ぶ		
<p>① 地域包括ケアシステムとか地域共生社会など「地域」という言葉が良く出ます。厚生労働省の研修会や県や市の文書やパンフレットにも良く出ます。高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活ができるよう地域住民の福祉力により高齢者を支えようとするものです。</p> <p>ここで紹介する「神門地区手互（てご）の会」は、神門地区に居住されている75歳以上の独居者や高齢者世帯で、身近作業が困難な者に、簡易な家事援助、屋内援助、話し相手、屋外援助を有料で行うこととする福祉互助組織で、今年の10月1日に設立されました。</p> <p>この組織が優れているのは、規約や役員体制、会計などのガバナンス体制と役員の方の熱意で、市の他地区の参考となるものであると感じています。そこで伺います。</p> <p>ア 市としての感想</p> <p>イ 市内各地区の「標準モデル」としての活用</p>		健康福祉 部長
(2) 外国籍の児童・生徒への教育支援について		
<p>① 出雲市においては、外国籍移住者が年々増加し、企業の採用計画に伴って今後ますます増加していくものと考えられる。外国人の中には、定住志向、永住志向の住民が多く、今後の地域の活性化や在り方に良い影響を与えると考えます。外国籍の住民にとって関心の高い児童・生徒への教育支援について伺います。</p> <p>ア 出雲市多文化共生推進プランで謳われている「外国人定住者の促進」の目的について伺います。</p> <p>イ 日本語指導が必要な児童・生徒数は年々増加してきておりますが、現在の人数について伺います。</p> <p>ウ 出雲市においては、H23年度から指導に当たる県からの教員や出雲市単独での日本語指導員を配置し日本語教育の指導体制を措られてきていますが、現在の人数を伺います。</p> <p>エ 学齢期にある児童・生徒を一般教室に配属し、日本語力（日本語ステージ）に応じて、取り出し授業として「日本語指導教室」で授業を受ける方法がとられていると思いますが、具体的な教育に当たって以下の点を伺います。</p> <p>a 一定の到達度（日本語ステージあるいは指導時間）は定められていますか。</p> <p>b 指導内容の統一性や方向性を図るため、教育者間の評価のすり合わせや指導内容を調整することが必要と考えますが、これらを調整するコーディネーターはいますか。</p>		市長

- | | |
|--|--|
| <p>c 日本語能力や学校制度に馴染まないなどの理由により、学校生活に適応できにくい児童・生徒もいると聞きますが、これにどのように対応されているのか伺います。</p> <p>オ 今後ますます日本語指導を要する児童・生徒が増加すると見込まれますが、現在の指導体制では担任の先生をはじめとする教職員の方に与える負担はますます増加すると考えられますが、改善策について伺います。</p> <p>カ 来日して間もない児童・生徒に対して3か月程度集中的に日本語や集団行動、給食あるいは日本の流儀を教える初期指導教室（プレスクール）を市内に複数設置し、一定のレベルに達してから一般の教室に配属する方法を採っている市もありますが、これについての考えを伺います。</p> <p>キ 義務教育年齢を過ぎて来日した者もいますが、その人数と対応策を伺います。</p> <p>ク 外国籍の保護者の大きな関心事は子どもの教育である旨を聞きます。保護者と語る機会が必要と考えますが、これについて伺います。</p> <p>ケ ますます増加する外国籍の児童・生徒等への教育支援について、今後どのようにすべきと考えておられるのか、市長の見解を伺います。</p> | |
|--|--|

質問者	9 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) ワーク・ライフ・バランスの推進について		市民文化 部長	
① これまでの取組みについての評価			
② 市内企業・事業所における取組み内容と評価と課題について			
③ 特定事業主行動計画における取組みとこれまでの評価			

質問者	3 山内英司		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 雇用政策について		経済環境 部長	
<p>① 現在出雲市では、主要施策の一つとして「雇用創出2500人プロジェクト」に取り組んでおられます。企業立地等、積極的に進められており市民にとっては働く場の選択肢も増えています。しかし、その一方では、中小企業や個人事業所の貴重な人材も新規参入企業等に流出している実態があります。この人材流出を止めることは、企業努力だけでは追いつかない状況になってきています。飲食店やコンビニエンスストアなどにおいては、人材不足がより深刻化しています。</p> <p>人口減少を確実に受け止めなくてはならない状況の中、働き手も確実に不足しています。こうした中、新しい施策が必要だと考えます。</p> <p>ア 有効求人倍率の推移と予測は</p> <p>イ 「雇用創出2500人プロジェクト」の進捗状況と今後は</p> <p>ウ 企業に対する雇用助成の現況</p> <p>エ 働き手不足について今後の対応策</p>			
(2) 通学助成制度について		教育長	
<p>① 市が小中学生・高校生の通学に対して行っている助成や補助について伺います。</p>			

質問者	2 玉 木 満		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 平成30年の大雪を教訓に		教育部長	
<p>① 生活に大きな影響を及ぼした、本年2月の大雪。過去の本会議で、35年ぶりとも言われた大雪に対し、「想定外」や「後手に回った」との発言があったが、今シーズンを迎えるにあたり、どのような検討を行ったか伺う。</p> <p>ア 小学生・中学生の登下校について</p> <p>a 学校によって対応が異なっていた点（始業・終業時刻の変更、臨時休校など）</p> <p>b 学校の対応を、もっと早く知らせて欲しいという保護者の願い</p> <p>c 通学路の安全確保について</p> <p>イ 速やかな除雪や雪害対応に向けて</p> <p>a 積雪深の測定について</p> <p>b 豪雪体制に移行する基準について</p> <p>c 住民への広報について</p>			
(2) 幼稚園・小学校へのエアコン設置について		教育部長	
<p>① 国の補正予算において創設された臨時特例交付金を活用して、幼稚園は7月初旬、小学校は6月末までにエアコンを整備する計画について詳細を伺う。</p> <p>ア 25園33校のスケジュールについて</p> <p>a 全国的にエアコンの需要が高まり、品薄も予想される。整備スケジュールが遅延した際の対策は考えられているか。</p> <p>b エアコン設置工事は、授業・休業日に関係なく行うのか。1教室あたり設置に要する時間はどの程度か。</p> <p>c 早期完工は元より、可能な限り工事が均等に進捗することを願う。スケジュールどおりの完工を目指す上で、懸念事項があるか。</p>			

質問者	17	西村 亮		
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 公共事業に係る適正価格・施工時期の平準化を問う			市長	
① 発注者側として次のことについてどのように理解されていますか ア 公共事業に係る適正価格、予定価格、最低制限価格 イ 適正な工期、発注の平準化、月別発注状況 ウ 書類の簡素化 エ 公共事業の減少と競争激化、経営環境 オ 若年入職者の減少と労働者の高齢化 カ 公共事業における品質確保の促進に関する法律 キ 働き方改革の推進と実行計画				
(2) 公用車の維持管理状況（確立）			市長	
① 公用車の維持管理のマニュアル ② 維持、管理が徹底されていないと思うが所見は ③ 今後、維持管理体制の徹底を伺う				

質問者	32	長 廻 利 行	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 大社門前町の整備について		市長	
<p>① 平成の大遷宮を契機として、大社門前町の整備は順調に進められてきている。 昨年(2019年)の12月議会での答弁の中で、渋滞対策としての駐車場の整備については、総合的に検討するということがあったが、その後の検討状況を伺う。</p>			

質問者	21	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 業務効率化に向けたRPA (Robotic Process Automation) の活用について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 業務量の把握状況と推移 (部署別、定量化) ② 業務効率化に向けた取り組み ③ RPAを活用した業務効率化の有効性についての見解 ④ 今後の取り組み 			

質問者	6	児 玉 俊 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 「うみ・やま応援センター」の現況について		市長	
① センターの機能及び体制について伺う。 ② 誰が、どのように活用すればいいのか。 ③ これまでの実績と今後の展望について伺う。(具体的な事例を)			
(2) 開かれた市政の推進について		総合政策 部長	
① 市長ポスト・市長メールについて伺う。 ア 件数の推移 イ 内容の傾向 ウ これまでの評価と今後の方策 ② まちづくり懇談会について伺う。 ア 最近の開催状況 イ 内容や規模の傾向 ウ これまでの評価と今後の方策 ③ 広報広聴全般についての現状の評価と今後の展望を伺う。			

質問者	28	板倉明弘	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) コミュニティセンターの人事異動（交流）について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 平成31年度、32年度に異動となるセンター職員数について伺う ② 異動期間は、2年間を基本とする理由について伺う ③ チーフマネジャーを対象としない理由について伺う ④ ブロックの統廃合、ブロック内での採用はできないのか伺う 			

質問者	1 今岡真治		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 災害時の対応について		防災安全 担当部長	
<p>① 避難所の開設運営について伺う。</p> <p>ア 指定避難所が浸水区域内にあるが安全性は確保されているのか。</p> <p>イ 指定避難所ならびに一時避難所の開設・運営の流れはどうなっているのか。</p> <p>ウ 町内会等で選定された、一時避難所の把握状況。</p> <p>エ 住民主体の避難所運営マニュアルを作成する考えはないか。</p> <p>② 避難所の質の向上について伺う。</p> <p>ア 国際的な避難所の基準「スフィア基準」について。</p> <p>イ 避難所のトイレの整備・備蓄状況について。</p> <p>ウ コミュニケーション支援ボードの活用について。</p>			

質問者	10	岸 道 三	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 小中学校教職員の人事権移譲に係る問題について		教育長	
① 「小委員会」での検討状況と今後の方向性 ② 松江市と出雲市における教職員の人事権移譲に係る考え方の違い ③ 人事異動ルールの抜本的見直しの具体案			
(2) 下水道事業の公営企業化に向けた諸課題について			
① これまでの一般会計の繰り入れと今後の繰り入れの見通し ② 下水道関連事業における、公営企業化後の会計上の取り扱い ③ 管路の老朽化更新に係わる現状経費の状況と今後の対応 ④ 新たに発生する事務への対応		上下水道 局長	

質問者	4 後藤由美		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 市民の暮らしと水道料値上げについて			
<p>① 年金カットのなか、医療・介護など社会保障費の負担増で、高齢者の暮らしはいつそう苦しくなっています。賃金の低下、物価上昇などで働く世代も苦しい生活を余儀なくされています。この時、国は来年10月から消費税を10%に増税することを狙っています。そこで伺います。</p> <p>ア 消費税10%への増税は、市民の暮らしをさらに苦しめることとなります。増税のたびに消費の落ち込みや景気の悪化を招いてきました。消費税は低所得者ほど負担が重い逆進的な税金であり、10%に増税されれば、市民の暮らしに深刻な影響を及ぼすことになり増税は中止すべきです。増税中止を国に要請すべきと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>イ そんな中、市は昨年11月に、水道料金の額と改定の時期を「出雲市水道料金等審議会」に諮問され、審議会は10月26日、市長に答申されました。2020年4月から水道料金を平均12.5%引き上げるとされています。消費税増税も狙われており、市民に連続して負担増を迫ることとなります。暮らしが大変な時、一日も欠かすことができない水道水の料金を値上げすべきではありません。市長の所見を伺います。</p>		市長	
(2) 障がい者福祉タクシー制度の見直しについて			
<p>① 「障がい者福祉タクシー制度をもっと使いやすくしてほしい」との要望が寄せられました。この制度は、障がい者の方の暮らしを支える上で不可欠なものであり、現在利用されている方の切実な要求を真摯に受け止め、改善すべきと考えます。そこで伺います。</p> <p>ア 日本政府は2014年、国連・障害者権利条約を批准しました。障がい者の権利と尊厳の促進、障がいのない市民と同様に地域で暮らし、学び、働き、スポーツや余暇を楽しむことなどの権利保障を掲げています。障がい者が安心して暮らせ、輝いて生きていける社会づくりが大切です。この障害者権利条約を市の施策にも生かすべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>イ 障がい者福祉タクシー制度は出雲市独自の制度であり、在宅の障がいのある方の社会参加促進を図るために障がい者福祉タクシー券を交付するものです。そこで3点伺います。</p>		市長	

- | | |
|--|--|
| <p>a 一つは、所得要件の問題です。2012年（平成24年）から所得制限が加わり、本人と配偶者の住民税が非課税（18歳未満の場合は世帯が非課税）の方しか使えなくなりました。「なぜこんな冷たいことをするのか」と、批判の声があがっています。この所得制限をなくし、もとの制度に戻した場合、どれだけの予算が必要になる見込みですか。</p> <p>b 二つは、交付枚数の問題です。一般用は年間18,000円分しかなく、病院まで遠い方は数回でなくなります。交付枚数を増やすべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>c 三つは、対象者のさらなる拡充です。障がい者手帳等は持っておらず、車いすも必要ないが特別な医療処置が必要で、タクシーを使わざるを得ない方も多くおられます。通院や社会参加のためにもさらなる制度の拡充を求めますが、所見を伺います。</p> | |
|--|--|

質問者	5 川 光 秀 昭	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 訪問介護（ホームヘルプ）の回数確認について		
<p>① 平成30年4月の介護保険法の改正により、本年の10月から訪問介護事業所は生活援助中心型の介護サービスについて、市町村に対してケアプランの届け出が必要となりました。この制度について出雲市の現状と今後について伺います。</p> <p>ア この制度の目的と出雲市で実施している方法について伺います。</p> <p>イ 出雲市で実施した結果及び評価を教えてください。</p> <p>ウ 出雲市ではこの制度をどのように利用しますか。</p> <p>エ 今後もこのままで継続させますか。</p>		市長
(2) 高齢者家庭のごみ収集事業について		
<p>① 一人暮らしあるいは高齢者のみの世帯は大幅に増加しており、厚生労働省の発表によると昭和55年には3割弱であったものが、平成16年には過半数を超え、平成26年には55.4%にまで増加し、平均寿命の延長により高齢化が進むばかりです。一方、厚生労働省では介護保険を利用し、住み慣れた家での生活を推奨しています。生活をする上で避けて通れないモノの一つにごみの問題があります。</p> <p>近年になって、「燃えるごみ」や「空き缶・空びん・ペットボトル」のリサイクルごみ等を集積場所に持参できない高齢者世帯が急増していますが、この事について伺います。</p> <p>ア 規定された集積場所に持参できないこれらのごみはどうなるのでしょうか。</p> <p>イ これらの世帯は、出雲市からどのようなサービスを受けることができますか。</p> <p>ウ これから急速に高齢化が進む中で、このまま現状維持でよいのでしょうか。</p> <p>エ リサイクル事業の近年の収支について伺います。</p>		市長

質問者	16	原 正 雄		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) トキの一般公開について			農林水産 部長	
<p>① 出雲市トキ分散飼育センターの一般公開が試験公開となった経緯について。</p> <p>② 来年7月1日から一般公開の予定とありますが、期間はいつまでか。その周知方法について。</p> <p>③ トキ分散飼育センターの所在の看板が見当りませんが、案内板等の設置はどう考えているのか。</p> <p>④ トキの観覧には、花の郷を經由して（入場料200円）行く道順が一番動線が短い。進み易いルートを優先する事が出来ないか。</p> <p>⑤ トキの観覧はオス4羽となっているが今後の動向は。</p> <p>⑥ 出雲での放鳥が求められているが、その前に放鳥訓練が必要であり花の郷の施設を利用する事は出来ないのか。西日本唯一の場所に選定されている事に地元民と共に誇りを持つ取り組みは出来ないのか。</p>				
(2) 新体育館建設の進捗状況について			市民文化 部長	
<p>① 新体育館建設のスケジュールについて。</p> <p>② 地元に事前に知っておいていただく項目はあるのか。</p>				

質問者	24 板倉 一郎		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 新たな工業団地の開発について			
<p>① 市内の工業団地の分譲がほぼ終わる中、新たな工業団地の計画は、工業団地の完成までに多くの期間を要することから、喫緊の課題と考える。そこで、次の点について伺う。</p> <p>ア 現在の工業団地の分譲状況について伺う。</p> <p>イ 過去の質問に対する答弁で、平成30年度には、候補地を選定し、新たな工業団地の規模や概要をまとめた整備計画を検討するとある。現在の候補地の選定状況および規模、また新たな工業団地の概要および完成時期などについて伺う。</p> <p>ウ 今後の企業誘致の考え方について伺う。</p>		市長	
(2) 中心市街地の水害対策について			
<p>① 近年、急速に中心市街地で商業開発や宅地開発などが進み田畑が減少する中、雨の降り方も変わりゲリラ豪雨と呼ばれる短時間の強い雨などが多発し、排水能力を超える水が排水路に流れ込むことによる住宅の冠水や浸水を心配する声が多く寄せられるようになった。そこで、次の点について伺う。</p> <p>ア 最近の浸水や冠水の被害状況について伺う。あわせて、旧出雲市の都市計画エリアの田畑は、どの程度減少したのか伺う。</p> <p>イ 県管理河川の新内藤川流域河川の改修状況について伺う。</p> <p>ウ 中心市街地での冠水、浸水対策について伺う。</p> <p>エ 県河川の改修が進む中、近年の市街地の状況や気象状況を踏まえ中心市街地の雨水の排水のあり方について、市として再検討すべき時期にあると考える。市の考えを伺う。</p>		都市建設 部長	

質問者	29 勝部 順子	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容		市長	
(1) 消費者教育の充実について			
<p>① 近年、ネット社会の進展に伴った消費者トラブルが相次いでいます。高度情報化、グローバル化が急速に進み、消費者生活環境が多様化、複雑化しているなかで、子どもや若者が一人の消費者として安全に自覚的に行動できるよう、早期からの消費者教育を充実させることが喫緊の課題となっています。</p> <p>総務省「通信利用動向調査」により、個人のインターネット利用状況をみると、80歳以上を除く全ての年齢層で利用率が高くなっており、2015年度末には13歳から49歳までの層で100%に近くなっています。</p> <p>ア 出雲市生活・消費者相談センターに市民の方から寄せられている現状と対応について伺います。</p> <p>イ 消費者教育の充実について、市として今後どのように取り組まれていくのか、お考えを伺います。</p>			

質問者	14 渡部 勝	答弁を 求める者	記 事
(1) 県庁所在地を出雲市に		市長	
<p>① 今回の質問は本来県議会で取り扱うものと思いますが、県民の一人としてそして出雲市民としてあえて本定例会で取り上げさせていただきます。</p> <p>島根県の県庁所在地は松江市であることは当然ご承知の通りです。しかし私は前から東西に約200kmと細長い島根県でお隣の県と約20kmとしか離れてない東部松江市に県庁があることが素朴な疑問として抱いていました。山口県に近い津和野町からは松江市まで約151kmにも及びます。</p> <p>私は島根県のバランスから考えても将来的には県庁を出雲市に移転することも視野に入れていく必要があると思っています。主な理由として、人口が県内で唯一わずかながらでも増加している。市長が施政方針の中でよく言われている山陰の経済、文化をリードし元気な地方都市を実現させる。このことは実際に現実になりつつあること、また年間600万人が観光客として訪れる全国的にも有名な出雲大社や、年間90万人が利用する出雲縁結び空港もあり、さらに工業団地には世界を代表する電子部品メーカーの工場もあり、今後出雲市は更なる発展の可能性を秘めています。</p> <p>そこで次の点について質問をいたします。</p> <p>ア 県庁所在地移転について市長の所感を伺う</p> <p>イ 出雲市が県庁所在地になる可能性があるのか伺う</p>			
(2) 築地松景観保全について		都市計画 担当部長	
<p>① 平成6年に島根県と出雲市とで築地松の景観を保全するため「築地松景観保全対策推進協議会」を発足し、フォトコンテストや築地松サイクリング、情報紙の発行、陰手刈り技術研修会などの普及啓発、保全対策、そして築地松に関する調査・研究を行ってきました。</p> <p>しかしながら、今年2月陰手刈り職人で指導者の男性が作業中転落し不幸なことに死亡する事故が発生しています。</p> <p>陰手刈りは、高所での作業で強風や枝が折れるなど危険が伴います。職人が減少する中、後継者の育成のためこれまでご指導していただきました。</p> <p>そこで次の点について質問をいたします。</p> <p>ア 陰手刈り職人の後継者育成をどのようにおこなっていくのか</p> <p>イ 安全対策はどのようにするのか</p> <p>ウ 剪定作業に対する助成金の見直しをする必要があるのか伺う</p>			

質問者	1 1 湯 浅 啓 史	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者 記 事
(1) 「出雲市多文化共生推進プラン」が示す将来像は		
<p>① 「出雲市多文化共生推進プラン」は、平成28年度～平成32年度を期間とし、平成32年度〔平成33年（2021）〕3月末市内に引き続き住んでいる（5年以上）外国人住民の割合を30%台とする目標を掲げている。</p> <p>ア 期間中間時点である現在はどのような状況か</p> <p>イ 5年以上在住の外国人住民の割合を30%台とする目標は、移住促進計画ではないとのことだが、その違いは何か</p> <p>ウ 多文化共生推進プランを推進することによりもたらされる、地域の将来像はどのようなものか</p>		市長
(2) ごみ処理の実態について		
<p>① 「もったいない」の心で築く循環型のまちを掲げた「第2次出雲市ごみ処理基本計画」は平成25年度（2013）～平成34年度（2022）の期間で実行されている。</p> <p>ア ごみ減量化の数値目標があるが、現在はどのような状況か</p> <p>イ ごみ減量化に向けどのような取り組みがなされているか</p> <p>ウ 家庭から排出されるごみ、事業所から排出されているごみについて、傾向はどのような状況か</p>		市長

質問者	1 2 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
<p data-bbox="180 365 791 398">(1) 出雲市の多文化共生推進プランについて</p> <p data-bbox="248 454 1102 969"> ① 市内に居住する外国人住民の総数は（国別・割合） ② その内、出雲市に5年以上滞在している外国人住民の定住率は ③ 外国人住民における乳幼児・保育園児・幼稚園児数及び、小学校・中学校・高校生の生徒数は ④ 外国人住民の就労者数は ⑤ 外国人住民の未就労者数は ⑥ 外国人住民と地域住民との交流支援及び課題は ⑦ 外国人住民への就労支援及び課題は ⑧ 今後、出雲市多文化共生推進プランについて、どのように具体化しつつ推進していく考えか ※他県での先進事例や県との連携を含めて答弁をお願い致します。 </p>		市長		
<p data-bbox="180 1014 483 1048">(2) 豪雪対策について</p> <p data-bbox="248 1104 1102 1731"> ① 今年2月の豪雪による産業別被害の状況（集計）について ア 農業の被害状況は イ 漁業の被害状況は ウ 林業の被害状況は エ その他の被害状況は ② その豪雪における教訓と課題について ※適切に対応されていたか否かを含めて答弁をお願い致します。 ア 住民の安否（高齢者等）への対応は イ 防災無線での住民（周知）への対応は ウ 除雪の対応は エ 渋滞の対応は ③ この冬の豪雪対策について ア 市の考えは ※教訓と課題を踏まえ答弁をお願い致します。 </p>		市長		

質問者	25 多々納剛人	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) おたふくかぜワクチンの接種状況並びに公費化にむけての現状と課題を伺う		市長	
<p>① 昨年の耳鼻咽喉科学会による初の全国調査によると、おたふくかぜの合併症で336人が難聴になったとの報告があり、国に対して原則無料の定期接種の対象とするよう求められているようです。また、出雲市内においても、おたふくかぜが原因とみられる難聴児がいて、特別支援を受けていると伺いました。</p> <p>ア 現在、おたふくかぜワクチンの接種については、任意接種となっていますが、出雲市内の幼児期におけるワクチンの接種率と接種費用について伺います。</p> <p>イ おたふくかぜの合併症による難聴などについて、市は現状をどのように把握されているのか伺います。</p> <p>ウ 予防接種で防げた可能性が高いことから、原則無料の定期接種が求められています。しかし、現状では国の対応が遅れているようで、近年は、自治体の公費助成も進みつつあるようですが、出雲市の対応を伺います。</p>			
(2) 出雲市（市街地周辺）南北道路等の改良整備状況と展望について伺う		市長	
<p>① 市内道路整備（国・県・市）については計画的に改良整備が進められていますが、厳しい財政事情から、近年では都市計画道路の見直しなどを余儀なくされているのが現状です。</p> <p>一方、地域によっては、人口増加に伴って既設の道路で交通量の増加が顕著となり、渋滞対策、安全対策が急がれる路線がいくつかあります。</p> <p>今期定例会にも要望・陳情が提出されている市道今市川跡日下線など日常的に渋滞が発生している路線も多くあります。この慢性的な渋滞は、その地域のみならず出雲市全体の経済活動にも大きく影響すると考えます。特に市街地周辺の南北道路改良整備は急がれますが、以下の路線の整備状況と展望について伺います。</p> <p>ア 一般県道出雲平田線、一般県道矢尾今市線（大塚工区）、市道今市川跡日下線、市道北本町谷田谷線の改良整備状況と将来展望</p> <p>イ 一般国道9号（旧バイパス）4車線化への展望について</p> <p>ウ 境港出雲道路（一般国道431バイパス）整備への展望について</p>			

質問者	19 伊藤繁満		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 平成31年度当初予算編成の基本的な考え方と中期財政計画 (平成31年度～平成33年度) 策定に係る課題について			
<p>① 平成31年度当初予算編成について財政運営の基本方針は、「次世代に重い負担を強いることのない持続可能な財政の運営」とされています。編成作業に当たり中期財政計画が基本となり、多様な角度からの検討がされ、積み上げられるものと考えています。そうした中において、地域経済の活性化は常に重要な柱であります。消費の動向も全体的には停滞感があります。又、外国人の増加が続いている中で出雲市の人口は、平成17年3月の合併時から本年3月までに日本人の人口は3,560人減少し、外国人を加えても出雲市の人口は13年間で1,175人減少しています。一方、(株)出雲村田製作所が立地する斐川町直江地区においては、この4年間に228人増加しています。合併して大きな「まち」になりましたが地域の良さが活かされたモノ、失われたモノもあると考えています。農村文化を求める外国人のニーズも全国的にあります。そこで、平成27年12月に中期財政計画・長期財政見通しが提出されましたが、本年は未だ提出されていません。以下の項目について伺います。</p> <p>ア 地域経済の現状及び消費動向と雇用情勢について伺います。</p> <p> a 農林水産業について</p> <p> b 商工業・建設産業、サービス業</p> <p>イ 平成31年度予算編成方針と中期財政計画の策定方針及び予算規模について伺います。</p> <p> a 毎年、多額の繰越金が計上される実態について</p> <p> b 合併特例債事業の旧市町別実態について</p> <p> c 今後の健全化の指標と基金残高および市債残高について</p> <p>ウ 行財政改革実施計画の目標値に到達していない項目について伺います。</p> <p> a 遊休地の処分達成割合(面積割)。又、その残地の時価相場について</p> <p> b AI、IoT時代に対応できる行政のスリム化が必要。官から民への流れで今後、民間委託すべきものは何か伺います。</p> <p>エ 活力ある出雲市の未来のために何が求められているのか伺います。</p> <p> a 若者の定住に多様な職種、雇用の場が必要。新工業団地の開発について</p> <p> b 周辺地域の人口減少抑制対策について</p> <p> c 骨格(国道)となる道路網の整備と土地利用計画の策定について</p>		市長	

質問者	8 本田一勇		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 田儀たたら製鉄遺跡の今後の計画は		市長	
① 田儀たたら製鉄遺跡保存の今後の計画を伺います。			
(2) 公用車（消防団車両）の更新計画について		市長	
① 来年度に更新計画されている消防団車両の種類と数量を教えてください。			
② 更新のルールがあれば教えてください。			
③ それぞれの使用年数と走行距離を教えてください。			
④ 平成30年度に同等品を購入しているならその金額を教えてください。税別価格で。			
⑤ その金額には車両処分代が入っているか。入っているならいくらか教えてください。			
⑥ 過去に中古品として販売した実績（下取り販売含む）はありますか。			
⑦ 現在（平成30年度）販売しないのはなぜですか。			